

九州初開催での告示研修参加

公益社団法人 鹿児島県臨床工学技士会 理事
社会医療法人 白光会 白石記念クリニック 臨床工学部
横山嘉寛

令和3年12月4日（土）、5日（日）の2日間、福岡県北九州市で開催されました告示研修2021の実技研修に参加させていただきました。

会場はJR小倉駅に隣接したコンベンション施設である西日本総合展示場となっており、アクセスには非常に便利な場所となっております。

コロナ禍での開催、そして九州管内では初となり、移動制限のある中で遠方となる首都圏への参加は難しい状況であったため、基礎研修となるエアーニング7分野60講義を業務の合間やプライベートな時間を使い、約3週間で急ピッチに完了させ、実技研修への申請を行いました。

基礎研修は法改正に伴う追加業務範囲、それに伴う業務の基礎講義となっており、内容も非常に充実したものでした。各セクション終了ごとに確認テストが実施され、合格が必須となります。不合格の場合は再視聴も可能なので、再度確認テストにチャレンジすることができます。そのため、講義内容をしっかり把握することができました。

実技研修では同テーブル2名1組にて行いました。初日は手術分野での清潔操作、鏡視下でのカメラ保持および操作という内容で、約5時間にわたりスコップや腹腔内シュミレーターを用いて術視野確保などの基礎的操作技術を熱心にご指導いただき、自分自身も初めての体験で、とても有意義な時間でした。その中でも腹腔内での視野確保に要した時間をお互いに測定を行ったのですが、その操作の難しさで大変苦勞し、大幅に時間がかかっ

たことを記憶しています。

2日目は静脈路からの薬剤投与、静脈路確保および抜針止血、動脈表在化穿刺、心カテについての講義とシュミレーターを用いた実技を交えて行われました。静脈路確保や動脈表在化の穿刺業務についての基礎を改めて再認識することができ、とてもいい機会になりました。

この告示研修において、業務上これまでに関わりの少ない分野もありましたが、追加業務内容の再認識、そしてその必要性を十分に理解することができました。

今回の九州初開催の告示研修は、大きなトラブル等もなく、スケジュール通りのスムーズな運営でした。これもひとえに日臨工や地方技士会役員の皆様のご尽力のおかげであると実感いたしました。

今後は地方での開催も予定されると思います。これからを担う若い臨床工学技士の方々には積極的な受講をお勧めいたします。

